日本工学院専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	診療情報管理士資格対策Ⅰ 専門
科目基礎情報				
開設学科	診療情報管理士専攻科	コース名		開設期 前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 150時間
単位数	10単位			授業形態 講義
教科書/教材	診療情報管理士テキストⅢ、診療情報管理士テキストⅣ、診療情報管理士問題集【専門】			
担当教員情報				
担当教員	安孫子 かおり	実務経験の有無・職種	有・診療情報管理士（指導者）	
学習目的				
<p>医療機関の機能分化と連携、情報の開示、安全の確保、疾患別医療費の包括化、医療IT化推進など新しい医療提供体制の改革が進行している。こうした状況の中で、厚生労働省は疾病分類について、国際疾病分類ICD-10の採用・普及、手術・処置などについても、一定のコードに準拠する方針を明確に示した。これにより、診療情報管理に必要な環境整備が一気に進む事であろう。その結果、診療情報管理士の業務は、病院経営・管理の中で、一層重要な位置を占めるようになり、また、情報、技術としてIT対応など広い視野と技術の修得による業務の拡大が期待される。</p>				
到達目標				
<p>診療情報管理士による質の高い医療データの収集と分析などの技術を習得し、病院経営管理や医学の研究ならびに医療の質を向上するスキルを習得する。医療の法令管理の徹底、また、病院のIT化に伴いそれらの技術を院内データ管理で活用でき、医療の安全活動の充実、および保健、医療、福祉、介護分野間の連携に活用できる。</p>				
教育方法等				
授業概要	病院という組織が、その使命を達成するために、そしてそれを維持していくためには、しっかりと情報管理が必要であり、それらを理解する必要がある。授業では具体的な事例を踏まえて説明する。			
注意点	<p>診療情報管理の分野で医療機関で仕事をする際に必要な知識を学ぶ。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により内容が前後する場合もある。</p>			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する	
	小テスト			
	レポート			
	平常点 (口頭・実技)	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	ガイダンス、医療管理（医療制度）	医療資源、医療制度、地域医療、医療関連法規定を理解できる		
2回	医療管理（病院管理）	病院の経営管理、医療管理、チーム医療を理解できる		
3回	医療管理（医療保険、介護保険制度）	医療保険制度、診断群分類、介護保険制度を理解できる		
4回	医療管理（医療安全、医療の質管理）	安全管理、医療の質管理、診療情報管理における診療報酬請求データの活用が理解できる		
5回	保健医療情報学	保健医療情報学、医療情報の特徴と種類、医療情報システム、情報セキュリティが理解できる		
6回	医療統計（統計理論）	統計的方法、データの要約、統計学的推測、統計的仮説検定が理解できる		
7回	医療統計（病院統計、疾病統計）	データのグラフ表現、病院の統計資料、臨床研究の主な手法と医学系研究に関する論理指針が理解できる		
8回	診療情報管理（法令、諸規則）	診療情報管理の意義と役割、診療情報管理と法規、診療記録の記載方法を理解できる		
9回	診療情報管理（診療情報管理士の実務）	診療情報管理士の基本業務、紙カルテ・電子カルテにおける診療情報管理、診療情報提供に関わる業務を理解できる		
10回	診療情報管理（DPC,医師事務作業補助・がん登録の実務）	DPC制度と実務、医師事務作業補助者業務、がん登録の実務、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）について		
11回	国際統計分類（1）	国際疾病分類論、国際統計分類ファミリー論、国際疾病分類の利用を理解できる		
12回	国際統計分類（2）	国際疾病分類論、国際統計分類ファミリー論、国際疾病分類の利用を理解できる		
13回	国際統計分類（3）	国際疾病分類の基本、各種の疾病分類体系を理解できる		
14回	国際統計分類（4）	国際疾病分類の基本、各種の疾病分類体系を理解できる		
15回	まとめ	これまでの授業の振り返り		